



春江中だより



春江中学校教育目標

- 自ら進んでよく学び、協力して働く生徒
- 規律を守り、責任を重んずる生徒
- 心身ともに健康で、思いやりのある生徒

【は】 っけん・気付く 【ル】 ートを考えつながる 【え】 がおを創り出す

自分の色「カラー」を活かし、自分の人生をデザインしていこう

校長 横枕 耕史

さて、あなた自身を表現するのにふさわしいあなたの色「カラー」はどんな色ですか。

卒業生の皆さんは、生まれて十五年、自分の性格はこれで、好きなものはこれで、嫌いなものはあれだなどと自分の取扱説明書をつくり、自分の色はこの「カラー」だと一つの色に決めていませんか。もしそう決めつけているのであれば、ここでリセットしてください。皆さんは、これから広い世界へと巣立っていきます。新しい場所で、新たな出会いや環境があり、新しい発見や気づきがあり、自分の「カラー」がこれからどんどん変容していきます。

ここまで話してきた「カラー」とは、皆さん一人ひとりの個性であり、価値観であり、生き方そのものです。そして、自分の「カラー」をどう育て、どう表現していくかは、誰かが決めるものではなく、自分自身が決めるものです。自分の「カラー」を自分で選び取ることは、すなわち自分の人生をデザインすることにつながります。どんな色を選ぶのか、どんな模様を描くのか、形・色相・彩度・明度・配色などを考えて、考えて、考えて、考えて、考え抜いてデザインすること。その選択と決定の積み重ねのプロセスが、自分の人生をよりよく形作っていくのです。

しかし、人生は決して平たんな一本の道ではありません。自分の信じる「カラー」を大切にしながらも、一つの「カラー」にこだわりすぎず、時には思い切って変化することも必要な場面があります。新しい経験を通じて、発見や気づき生まれ、自分の「カラー」を塗り替えることが

あってもいいのです。むしろ、その柔軟さこそが、これからの未来を生き抜く力になるのではないのでしょうか。

私たちは、少子高齢化、気候変動、未だ解決しない戦争、グローバル情勢の混迷、生成AI等デジタル技術の発展など激しい変化が止まることがない時代を生きています。世の中は、目まぐるしいスピードで嘘も真実も様々膨大な情報が飛び交い、変化が激しい何が正解か分からない状況です。だからこそ、自分主体で考えること、想像力を働かせ、一面だけの情報に惑わされず、クリティカル・シンキングで何が正しいのか見極め、自分の中でしっかり考えることが大切といえます。

未来の「正解」は誰にもわからず、不透明で不確実であるからこそ、「ピンチはチャンス」と発想の転換し、面白くポジティブに捉えることが重要です。これから未来を歩み進んでいく皆さんは、それぞれの進路先で、「生業」として就職する職場や地域社会で、自分がその時いる場所で、自分の「カラー」は何なのか、どのように活かすとよりよくなるのか、この場合は新しい色を取り入れ変容するべきか、周りに流されることなく、常に「広き心」で状況判断し、考えて、考えて、考えて、「高き理想」につながる最適解を見つけてください。皆さん一人ひとりが自分の人生をポジティブにクリエイティブにデザインし、未来を主体的に生き、素敵な未来を形作っていくことを心から願っています。(第47回卒業式 校長式辞より)